

# 優れた燃費性能と安定感のある走りに貢献する、 クラストップレベル※の空力性能。

CFDと風洞テストによる解析と実走によって風の流れを徹底的に検証。空気抵抗の低減だけでなく、前後のリフトバランスをも最適化し、燃費性能と走行安定性を高い次元で両立させました。

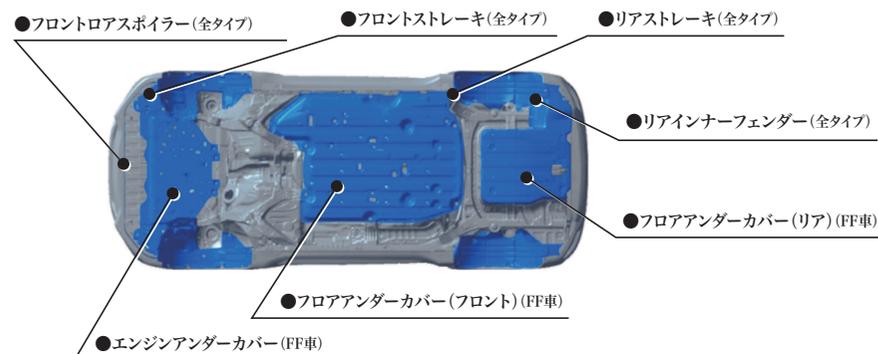
## 空気抵抗の低減による燃費性能の向上

リアに向かってなだらかに絞り込んだエアロキャビンと、側面にまで回し込んだテールゲートスポイラーで、ルーフのみならずボディサイドからの風の巻き込みをも低減。ボディ下部は、アンダーカバーを設置してフラット化するとともに、フロントロアスポイラーとストレーキにより風の乱れを最小化しました。さらに、フロントピラー、ドアミラー、リアコンビネーションランプの形状を最適化し空気抵抗を徹底的に低減。燃費性能の向上に大きく貢献しています。



※ 1.5L～2.0LクラスのSUVとして、2013年11月現在。Honda調べ。

## ■ボディ下面空力パーツ配置図



## 前後リフトバランスの最適化による走行安定性の向上

フロントロアスポイラーやテールゲートスポイラーの形状を工夫し、空気抵抗への影響を最小限に抑えながら、走行中に空気がボディを浮かそうとする力「リフト」の前後バランスを最適化。高速走行中でもふらつきにくい、快適な走りを追求しました。